

# がん薬薬連携に関する 研修会

## 実施後報告

ご参加頂きありがとうございました。

令和3年度第2回がん薬薬連携に関する研修会を3月18日に開催いたしました。今回は県内の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、オンライン開催とさせていただきます。

今回はXELOX療法のレジメン管理と副作用ケアについて、当院のがん化学療法看護認定看護師と薬剤師が講演を行いました。

中でもXELOX療法の代表的副作用である手足症候群のケアについては、保清・保湿や日常的な予防策など、実際の患者とのやり取りを交えながら、具体的でとても分かりやすい講演となりました。認定看護師として多くの患者に寄り添ってきたことが伝わるような内容だったと思います。薬剤師からはトレーシングレポートの活用についても触れ、患者に寄り添った協力体制を呼びかける場面がありました。

外来化学療法においては、治療を行う病院側と処方箋を応需する調剤薬局側との連携が非常に重要であると考えます。この研修会が、病薬連携における情報共有の場となり、患者にとってより安心・安全な化学療法を提供するきっかけとなれば幸いです。

今回は当院で初めてのオンライン開催だったため不慣れな点が多くありましたが、実りある研修会が実施できるよう精進してまいりますので、引き続きご参加のほどよろしくお願いいたします。

### XELOX療法(CapeOX療法)

#### ○使用する薬剤

- ・カペシタピン(ゼローダ®): Xeloda
- ・オキサリプラチン(エルプラット®): Oxip

#### ○適用となるがん

- ・大腸がん、胃がん
- 術後の抗がん剤治療
- 切除不能な進行・再発がんの1次、2次

### 2. 保湿

- 保湿剤は、可能なら、入浴後、5分以内に塗布した

- すっかり乾く前に塗るのがベスト
- 脱衣所に持って行く習慣

- こまめに、3~4回/日

- 「患者:塗ってるよ」→「看護師:何回くらいですかね?」→「患者:取りは多い。」

- 家族へは、アサーティブな声掛けを依頼

- 褒めて、のせて、塗る習慣を。褒められると誰だって嬉しい

### レポート受領後の流れ

【盛岡赤十字病院の場合】

- 薬剤部FAX受信



内容確認、電子カルテへ登録  
(**緊急性あり**:処方医師へ情報提供、カルテに記録)



- 診療科

内容確認、必要により「返信書」を作成



- 薬剤部から保険薬局へ「返信書」をFAX送信